

受付 年月日 5.2.-8 環 638	閱 覧						係 合議	分 類	
	町 長	副町長	課 長	課長 班長	所長 補佐	係 長		1	2
	代 山岡	山岡	高嶋			西岡	川本	十	指示 13年

令和5年2月6日

内子町環境マネジメント推進本部長
内子町長 小野植 正久 様

内子町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 小野 里枝美 

副主任監査員 多比良 康彦 

副主任監査員 水 本 隆 

環 境 監 査 報 告 書

令和4年度うちエコ監査の結果について、以下のとおり報告します。

1. 監査日程 推進本部・事務局：令和5年1月18日（水）
 実行部門等 ：令和5年1月23日（月）・25日（水）
 全体協議 ：令和5年1月27日（金）
2. 監査対象 環境マネジメント推進本部および事務局
 実行部門等（別紙）
3. 監査方法 監査員による聞き取り
4. 監査内容 環境基本計画（後期計画）にかかる目標の達成見込み
 エコオフィスの取り組み状況
 町民等との連携および職員の環境意識の醸成 など

(1) 総合所見

令和4年度のうちエコ監査は、推進本部・実行部門23部署・事務局、計25の部署等を対象に実施しました。

本年度の監査は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、時間を30分に限定し、かつ聞き取りを各部署等の長及びエコアップ推進員のみにとするとともに、部署内の見回りの代わりに取り組み状況が分かる写真を準備するなどのご協力をいただいたうえで行いました。対象部署等の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

評価の方法は、取り組みの内容や目標の達成状況について、☆（特に優れた取り組み）◎（良好な取り組み）○（取り組んでいる）△（改善要望事項）×（勧告事項）の5段階で判断しました。その結果、☆1個、◎32個、△3個、×2個となりました。

全体を通して、従来から取り組んできている基本的な環境対策がおおむね定着し、着実に実践されている様子がうかがえました。

その中で「☆」となった部署については、エコを進めることで予算の削減にも成功しており、エコロジーとエコノミーが両立している点を高く評価しました。

また、未だに続くコロナとの共存も昨年度以上にうまく進んでおり、WEB会議の定着や様々なイベントの復活など、今後エコ活動を進めていく上で希望が見えた監査となりました。

一方で、マンネリ化のためか一部厳しい評価がなされた部署もあります。その多くは職員一人一人の意識の低下から来るもので、この点について来年度以降、研修に積極的に参加していただくなど、今一度「エコロジータウン内子」の理念に立ち返り、より一層の定着・発展を望みます。

さらに、2050年の脱炭素社会実現を目指すという国の方針により、自治体や家庭に対してこれまで以上にハードルの高い温室効果ガス排出量の削減目標が示されています。今後は自治体だけではなく事業者や家庭を巻き込んで活動を進めていくことがより重要になってくると考えます。

今後うちエコを進めていくなかで、事務局にはより一層の情報発信に努めていただきたいと思います。

うちエコを通して、内子町の取り組みが町民により広く深く浸透し、家庭や職場などでも生かされて、町全体でエコロジータウン内子の実現につながっていくことを期待します。

(2) 評価結果

① 推進本部

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	町長／方針の設定・周知		1					
2	町長／環境基本計画の推進（協議・指示）			1				
3	町長／EMSの運用・改善			1				
4	副町長／エコオフィスの推進			1				
5	副町長／エコオフィスの推進		1					
6	教育長／環境教育の推進（環境学習）			1				
7	教育長／環境教育の推進（地域の環境活動）			1				
合 計			2	5				
達 成 率（○以上の項目／全7問）		100%						

②実行部門

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	環境基本計画の内容と実施状況			8			15	
2	独自目標の内容と達成見込		2	21				
3	独自目標の改善		4	19				
4	エコオフィスの推進（節電）		2	19		2		
5	エコオフィスの推進（その他燃料の節減）		2	20			1	
6	エコオフィスの推進（紙の使用量削減と分別）		5	18				
7	エコオフィスの推進（グリーン購入）		1	21	1			
8	町民や事業者等との連携		6	17				
9	公共事業における環境配慮		1	17			5	
10	職場での情報共有			21	2			
11	ゴミの削減について		1	22				
12	全般（その他取り組みの工夫）	1	5	17				
13	地域環境への関心			23				
14	全般（各人の環境配慮の取り組み）		2	21				
15	全般（うちエコに関する意見・要望）	(評価対象外)						
合 計		1	31	264	3	2	21	
達 成 率（○以上の項目／全15問×23部署） ※該当なし項目（—）を除く		98%						

③事務局

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	基本方針の周知・理解			1				
2	環境に関する定期的研修			1				
3	首長との協議			1				
4	目標達成状況の公開			1				
5	指摘事項の改善			1				
6	全般（取り組みの工夫・改善）		1					
7	システム全般（うちエコの運用）		1					
8	システム全般（監査の工夫・改善）		1					
9	システム全般（監査の評価）			1				
10	システム全般（監査の報告）			1				
合 計			3	7				
達成率（○以上の項目／全10問） ※該当なし項目（—）を除く		100%						

(3) 個別所見

① 特に優れた取り組み（☆）

部署名	設問	評価理由
税務課	12	法令集などの追録を電子書籍に変更したことで、紙の削減だけでなく、来年度予算の100万円削減につなげていました。業務上エコへの取り組みが限られる中、その両立を実現していたことを高く評価します。

② 良好な取り組み（◎）

部署名	設問	評価理由
こども支援課	5	車を2台から1台に変更し、また軽自動車を残したことで燃費が大幅に向上しガソリン使用量が大幅に減少していました。その他要因として、五十崎児童館などの近隣へ出向く際は自転車や徒歩で移動するなどの活動も影響していると思われます。 また灯油使用量についても、選挙時の余りを融通してもらうなどで50Lの削減に成功していました。

農林振興課	12	<p>支援を行っている中でも、林家が減っているという課題を抱えていました。木こり市場では出荷量が当初の想定より少ないことから、急遽開催日を増やすといった柔軟な対応をし、林家の支援をしていました。</p> <p>また里地里山の保全・災害防止のため利用しやすい里山林整備事業を新たに始め、地域課題の解消に向けた良い取り組みをされていました。</p>
学校教育課	6	<p>電子データでの回覧や分別処理など、コピー用紙使用量の削減を徹底されていました。また紙の利用が多い学校現場向けへの講習会を開いてみてはとの提案もしていただきました。</p>
	7	<p>エコオフィス用のフォルダを準備しており、購入時にはガイドラインを確認できるようにされていました。またガイドラインにそった購入ができなかった場合は、その旨をすぐ記録するような配慮もとられていました。</p>
小田支所	6	<p>電子決済を積極的に活用しておりコピー用紙使用量の削減に努めていました。また、個人情報を多く扱う部署ですが、きちんとシュレッダー処理を行っており、リサイクルもしっかりと実行されていました。</p>
	8	<p>千の森クラブという 20 名ほどのグループと協働で森林整備やゴミ拾いなどの活動を行っていました。また老人クラブでは、愛媛県デジタル総合戦略を活用し、スマホ教室を実施していました。こうした活動を通してスマホの活用が広がれば、町民向け文書削減も期待できる素晴らしい取り組みと感じました。</p>
	14	<p>エコバック、マイボトルの利用、節水、節電など職員から聞き取りを実施されており、一人ひとりのエコ意識の浸透が見受けられました。</p>
内子児童館	3	<p>今年は水をテーマに水生生物観察会を行い、その後浄化センターの見学に行くなど一貫した体験、学習に取り組まれました。その繋がりとして、次年度は小田川での水生生物観察会も検討されていました。</p>

内子児童館	8	児童館だよりや児童クラブだよりで毎月情報発信を行っており、地域の方や、幼・保育園と協力し PET ボトルキャップの回収を実施されていました。その他、以前実施していた高齢者とのふれあい事業がコロナ禍のため中止となっていますが、実施方法の見直しを行い実施検討されており前向きな姿勢が見受けられました。
大瀬小学校	8	コミュニティ・スクール（以下コミスク）の導入により、地域全体でのアルミ缶リサイクルに取り組んでいました。回収方法には課題があるようですが、その解消に向けて検討されていました。
石畳小学校	4	上半期は猛暑が続いたことで例年に比して電気使用量が増えていましたが、下半期に入ってから意識改善を図り使用量削減に成功されていました。また普段は校長室を使わず、校長自ら職員室で業務をすることで率先して節電されていました。
	8	アルミ缶回収、奉仕作業「樹木周辺やゴミ収集場所」を全教員、児童、町民協働で行っていました。また、地域の環境美化としてガードレールの清掃を実施しており、学校通信で町民に発表していました。
	12	道沿いの花を、児童、町民と協力し育てており、環境省のレッドデータに指定されるような植物の育成に成功し、希少な蝶が訪れるなど地域環境の保全に努めていました。
五十崎小学校	2	各目標の達成はもちろんのこと、アルミ缶回収場所への掲示や、売却で得たお金で地域にプランターを配布し地域の環境美化にも取り組まれていました。
	3	数値目標の更なる見直しや、質の向上、全体協議後には他校の取り組みを取り入れたいなど高い意識が見られました。
	4	電気使用量について過去2年度分まで把握、比較されており、基準年度比で3%の削減見込みでした。また換気方法の見直しを行ったことで、空調の効率化、教頭が朝、夕見回りを実施することで消灯確認をするなど非常に高い意識をもって取り組んでいました。
	6	情報共有に PC をメインとして活用し、印刷する際は裏紙利用を活用するなどし、削減の努力をされていました。また分別については、職員室内に多数の分別ボックスを設置することで、意識的に分別できる状況を作られていました。

五十崎小学校	14	家庭でのゴミ分別、ウォームシェアや食洗器利用前に油污れは落とすなど一人ひとりが意識的に取り組んでいました。また先生の中には、学校用に裏紙で自由帳を作るなどの取り組みも見られました。
内子中学校	12	牛乳パックをゴミとして出す際、先生方がまとめてゴミ袋にきっちりと詰めて出していることでゴミ袋の削減に取り組まれていました。
大瀬中学校	6	裏紙の活用はもちろんのこと、スマート連絡帳を活用することで、保護者への連絡、文書配布、出欠連絡などをペーパーレス化されていました。
	8	会費を集め、大瀬地区全家庭に大瀬中だよりを配布し、地域全体で子どもを育てるという環境づくりに取り組まれていました。また、1年生はコオロギファームの見学を実施しており、その他にも地域と協働したクリーン運動や大瀬小学校と一緒にアルミ缶回収など、地域とのつながりが多くみられました。
五十崎中学校	2	体育館の電気を半分のみとし節電に努めている他、牛乳パックの回収も再開していました。
	3	コロナ対策として換気が必要なため、暖房使用量が増加すると予想し各教室でのストーブを廃止、灯油使用量を大きく削減していました。また換気についても開けっ放しではなく30分に一度とすることで節電の工夫も見られました。水道については感染対策として手洗いを推奨しているため削減は出来ませんが、原因の把握をされていることや、その理由から、致し方ないと思いました。ゴミ分別については年度初めの職員会で周知をし、習慣化されており素晴らしいと思いました。
	6	職員会資料は全てデジタル化済みで、今後テスト等にもデジタル化を進めていく予定でいました。学校評価アンケートも一部紙も残るがデジタル化を推進しているなど前向きな姿勢が多くみられました。
小田学校 給食センター	12	施設前にあるゴミステーションを管理する町民がおらず、代わりに管理を行っていました。また、回収されなかったものの再分別や本来の収集日に出しなおすなど管理を行っていました。

町並保存センター	5	電気等の使用量を適切に把握しており、増加しているものについても原因の特定をされていました。また施設改修の際障子戸からアクリル板に変更し気密性が向上し冷暖房の効率化に成功していました。
	9	センターの犬走の土間たたきの回収を実施した際、通常塗りなおしには新しい土を利用するところ、元々使用されていた土の再利用をされていました。また、老朽化等で外壁が落ちたりした場合には景観美化のため修繕を勧めているそうです。
	11	全職員が弁当持参のため、そもそも個人ゴミが発生しづらく、かつ発生した場合の持ち帰りも徹底されていました。
図書情報館	12	資料収集に関しては、各職員がSDGs等を学んだうえで行っており、高い環境意識を感じました。また町民への情報発信も検討中とのことで今後の展開に期待しています。
内子自治センター	3	昨年までコロナ対策のため、日帰りとしていた夏季キャンプを1泊に変更し、生き物観察を実施していました。その他独自活動として、セミの抜け殻調査を実施し、子どもだけでなく大人と一緒に新しい活動を実施するなど前向きな様子が見受けられました。
大瀬自治センター	8	自治会が河川愛護として小田川の清掃活動を行っており、その際県との仲介役として尽力されているとのことでした。またコミスクとの連携も取られており、地域住民との窓口として素晴らしい活動をされていると感じました。

③ 改善要望事項 (△)

部署名	設問	評価理由
内子中学校	10	職員間での情報共有にもう少し工夫がほしいと感じました。職員会での連絡や共有フォルダの作成など様々な手段があるので検討していただければと思います。
小田中学校	7	グリーン購入は出来ていましたが、事務員任せであり、なぜ実施しているかなどの意識が十分ではないと感じられました。
	10	定期的な周知や全職員への周知が行えていないため、今後の周知方法や各職員への意識付けを希望します。

④ 勧告事項 (×)

部署名	設問	評価理由
五十崎中学校	4	LED 化や体育館の一部消灯、授業中の防寒着着用などの工夫は実施されていました。しかし、具体的な電気使用量の把握がなされていなかったため、評価を勧告としました。
小田中学校	4	LED 化や必要な際のみ点灯するなどの取り組みは実施されていました。しかし電気使用量の把握や前年との比較がなされていなかったため、評価を勧告としました。

⑤ 部署別全体評価

部署名	全体評価
税務課	税と環境という直接的なつながりが少ないなかで、租税教室の際に偽紙幣で1億円分も準備、クイズを取り入れながら興味関心を引き、森林環境贈与税を切り口に税と環境の繋がりを伝えていました。
こども支援課	日頃から高い意識、水準のもと取り組んでおられ、監査時もほとんど手持ち資料を見ずに返答されるなど実行責任者を筆頭に熱心な様子が見受けられました。
内子総合窓口センター	実施目標も既に達成しており、一人ひとりがうちエコ活動に前向きであると見受けられました。
農林振興課	様々な事業展開をしている中で、特に廃プラスチック回収や、里山事業をしっかりと取り組まれており、その他の事業も継続して実施されていました。
学校教育課	長く続くコロナの影響で学校現場全体として従来通りの活動が難しい中、できることを模索しながら実施されていたことを高く評価したいと思います。また職員への情報共有や高い意識形成ができていると見受けられました。今後コミスクを活用した地域密着型教育や会議等でのペーパーレス化など大いに期待したいと思います。
小田支所	一人ひとりの意識が高く、基本的な事項は高い水準で実施されていました。また小田深山という部署特有の課題に対しても正面から取り組んでおられ今後の活動に期待が持てました。
内子児童館	小さな頃から環境について体験することが大切であるという理解のもと、多岐にわたる活動をされていました。地域や他部署との連携もされており、一人ひとりの環境意識の高さが様々な活動として実践されていました。
大瀬小学校	地域の方を講師として環境保全に係る授業を行っていました。コミスクの導入でより一層の地域協働が進んでおり、地域全体での今後の活動に期待が持てました。

石畳小学校	<p>これまで長年にわたって培われてきた地域との連携が様々な活動に生かされてきました。このような継続した活動が新たな活動につながっており、地域として良い循環が構築されていました。</p>
五十崎小学校	<p>情報共有がしっかり行われていることから一人ひとりの意識の高さが見受けられました。地域とのさらなる連携や、取り組み内容の一層の向上など非常に前向きな様子が見られました。</p>
小田小学校	<p>地域の自然を存分に生かし、子どもたちに環境教育の場を提供していました。今後もこの活動を継続し、自然を大切に思う気持ちを育てていきたいと思えます。</p>
内子中学校	<p>推進委員の出身地区が内子よりゴミ分別が厳しい地区であり、分別における工夫が見受けられました。コミスクも発足し、今後の地域密着に期待したいと思えます。今後改善していただきたい点として、職場での意識共有や環境基本方針に則った活動などに取り組んでいただくことを希望します。</p>
大瀬中学校	<p>職員室に電気使用量等を掲示し、可視化することは意識付けとして素晴らしい取り組みですので、今後も継続して実施していただきたいと思えます。また同様に生徒会を中心とした月1回のボランティア活動も素晴らしいと感じました。</p>
五十崎中学校	<p>全体を通して環境への配慮が見受けられ、えひめ AI-1、大洲和紙の使用や、年度初めに職員会議での周知徹底などが習慣化できていることは素晴らしいと思えました。ただし、質問事項を事前に周知していたにも関わらず、事務員が把握しているという回答がみられました。その他監査場所の窓が全開かつ暖房なしという状況であり、生徒も同様の環境だとすれば体調面で問題ではないかとの意見が出ました。</p>
小田中学校	<p>前任者との引継ぎが上手くいっていないように見受けられ、新しい取り組みも見られないなどの点について、今後改善を図っていただきたいと思えました。</p>
内子学校給食センター	<p>外的要因に左右されることが多い部署でありながら基本に忠実に取り組まれていました。また建て替えを実施するのであればペレットボイラーやその排熱利用、太陽光パネル設置を検討したいと、環境に対し高い意識を持っておられました。</p>
小田学校給食センター	<p>自助努力が難しい部署ですが、基本的なことを高い水準で実施されていたほか、地域の環境美化にも取り組まれており今後も継続していただきたいと思えました。</p>
八日市・護国町並保存センター	<p>町並保存地区という環境上、様々な制約がありますが、中でもアクリル板を導入するなど景観にも配慮しつつ環境にも配慮した取り組みが見られました。</p>

<p>図書情報館</p>	<p>今年度から牛乳パックを用い、ブックスタンドや、フィジカルディスタンス確保に利用されていました。環境、SDG s 関連のコーナーを設けたり、子ども向けお話し会などを通し環境教育の実施など様々な工夫が見受けられました。今後はHPによる情報発信も検討しているとのことですのでこれからの活動にも大いに期待したいと思います。</p>
<p>内子自治センター</p>	<p>コロナ前に行われていた事業の復活など、地域住民を巻き込んだ活動が行われており、今後の継続に期待がもめました。</p>
<p>大瀬自治センター</p>	<p>SDG s と関連した子ども向けエコセミナーの実施や自治会、自治センターだよりを活用した地域へのPR活動もされていました。また町民と県とのつなぎ役としても活動されており、前述の活動と合わせ、今後も継続して取り組んでいただきたいと思ひます。</p>
<p>小田自治センター</p>	<p>旧田渡小学校をたどビレッジとして活用し、景観や環境への配慮がされており良い取り組みだと感じました。人員が限られた部署ですが一人ひとりの意識が高く今後にも期待したいと思います。</p>
<p>参川福祉館</p>	<p>昨年の実績を踏まえ、緑のカーテンでの品種変更を試みるなど、目標を達成しつつもさらなる取り組みの向上意識が見受けられ、今後の活動にも期待したいと思います。</p>

[参考] 対象部署一覧

NO.	区 分	部 署 名 等
1	推進本部	町長
		副町長
		教育長
2	実行部門	税務課
3		こども支援課
4		内子総合窓口センター
5		農林振興課
6		学校教育課
7		小田支所
8		内子児童館
9		大瀬小学校
10		石畳小学校
11		五十崎小学校
12		小田小学校
13		内子中学校
14		大瀬中学校
15		五十崎中学校
16		小田中学校
17		内子学校給食センター
18		小田学校給食センター
19		八日市・護国町並保存センター
20		図書情報館
21		内子自治センター
22		大瀬自治センター
23		小田自治センター
24		参川福祉館
25		事務局